

目的(総合計画)
交通空白・不便地域がある程度解消され、交通サービスを誰もが利用しやすい社会の実現
任務目的(係の目的)
交通サービスの利便性向上のため、生活交通を確保する
業務概要
生活交通の確保のため、各種対策協議会に参加するとともに、路線バス事業者に対し、不採算路線の運行によって生じた経常欠損額等の補助などを行う。

2桁 大分類
01 交通空白・不便地域の解消

4桁 中分類
0101 生活交通の確保

6桁 小分類	
0101	01 県交通安全対策協議会への参加
	02 萩間線対策協議会への参加(牧之原市、島田市及び菊川市)
	03 路線状況の調査・状況把握
	04 県費申請・実績書の作成と補助金の交付

平成21年度 総括表

所属	総務企画部 総務課 行政係	係 表番号	2/3	内 線	1112				
総合計画の位置付け									
基本方針:7. 安心・便利・快適なまち【都市基盤】 施策の柱:5. 交通安全の推進及び公共交通の整備 (総合計画 P92~P93)									
目的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目標	期限	
交通空白・不便地域がある程度解消され、交通サービスを誰もが利用しやすい社会の実現	移動が困難な人に配慮した交通手段が確保されていると思う人の割合	43.50%					47.2% (初年度実績)	23年度	
任務目的	交通サービスの利便性向上のため、生活交通を確保する	路線系数	2路線				2路線	21年度	
業務概要	生活交通の確保のため、各種対策協議会に参加するとともに、路線バス事業者に対し、不採算路線の運行によって生じた経常欠損額等の補助などを行う。	適正処理	適正処理				適正処理	21年度	
【目的(総合計画)管理指標の動向】									
総合計画の管理指標である市民満足度(アンケート結果)については、やや減少している。									
【現状】									
相良営業所を起点とした金谷駅・金谷小学校までの区間を運行する萩間線は、高校・中学校・小学校の通学また市民の足として必要な交通手段としての路線バスである。 これらは牧之原市・島田市・菊川市の3市によって自主運行しており、経常欠損額に対して補助しているが、年々経常欠損額が増加している状況にある。									
【現状の課題】									
朝夕は高校・中学校・小学校の通学の足として利用率が高いが、昼は利用率が低迷している。									
【次年度改善措置】									
牧之原市・島田市・菊川市の3市による連絡調整会議を次年度も定期的で開催し、利用実績を基に利用の少ない時間帯を考慮して、運行本数及び運行系統の見直しを図っていく。									

目的(総合計画)
 交通空白・不便地域がある程度解消され、交通サービスを誰もが利用しやすい社会の実現

任務目的(係の目的)
 コミュニティバスを運行し、公共交通空白域に居住する市民の足の確保と利便性向上を図る。また、市民交流の促進や移動制約者の外出支援を図る。

業務概要
 コミュニティバスを運行するとともに、これに伴う管理運営、利用者拡大、運行見直しを実施する。

2桁 大分類
 01 交通空白域の解消

4桁 中分類
 0101 コミュニティバスの運行

6桁 小分類	
0101	01 運輸支局への自家用有償旅客運送登録事務
	02 運行委託業務(委託契約、委託先との連絡調整)
	03 管理運営(運行管理、車両管理、停留所管理)
	04 市広報誌、HP等への概要及び記事掲載
	05 時刻表・コース図の作成、市内全戸配布、市内各施設への配布
	06 乗り方教室の開催
	07 意見・要望・陳情・苦情の管理
	08 地域公共交通会議の開催(年3回程度)
	09 県市町自主運行バス事業費補助金事務
	10 県生活交通確保対策協議会への参加及び申出
	11 地域公共交通に関する会議・研修会等への参加

業務棚卸表(個表)

総合計画	基本方針 (総合計画 P14~P17)	7.安全・便利・快適なまち【都市基盤】	平成21年度	作成日	平成21年12月15日	
	施策の柱	5.交通安全の推進及び公共交通の整備 (総合計画 P92~P93)	部コード	30	部名	市民生活部
			課コード	14	課名	地域支援課
			シート	2/2	係名	地域支援係

目的・業務概要		管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	職員配置	備考
目的 (総合計画)	交通空白・不便地域がある程度解消され、交通サービスを誰もが利用しやすい社会の実現	平均利用者数(1日)	131.7人	140.0人	23年度	—	正規 0.7人 嘱託 0人 臨時 0人	
		移動が困難な人に配慮した交通手段が確保されていると思う人の割合	43.5%	47.2% (初年度実績)	23年度	—		
任務目的 (係の目的)	コミュニティバスを運行し、公共交通空白域に居住する市民の足の確保と利便性向上を図る。また、市民交流の促進や移動制約者の外出支援を図る。	平均利用者数(1便)	4.4人	4.7人	23年度	☆☆		
業務概要	コミュニティバスを運行するとともに、これに伴う管理運営、利用者拡大、運行見直しを実施する。	年間利用者数	32,000人	34,000人	23年度	☆☆		

業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
01			交通空白域の解消	実車走行距離(1日)	1246.9km	1250.0km	23年度	☆☆	1,450	
	0101		効果的なコミュニティバスの運行	年間利用者数	32,000人	34,000人	23年度	☆☆	1,450	
		010101	運輸支局への自家用有償旅客運送登録事務	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	50	
		010102	運行委託業務(委託契約、委託先との連絡調整)	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	200	
		010103	管理運営(運行管理、車両管理、停留所管理)	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	200	
		010104	市広報誌、HP等への概要及び記事掲載	掲載回数	16回	16回	23年度	☆	100	
		010105	時刻表・コース図の作成、市内全戸配布、市内各施設への配布	発行部数	18,000部	18,000部	23年度	☆	100	
		010106	乗り方教室の開催	参加者数	92人	100人	23年度	☆	50	
		010107	意見・要望・陳情・苦情の管理	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	200	
		010108	地域公共交通会議の開催(年3回程度)	開催回数	2回	3回	23年度	☆	200	
		010109	県市町自主運行バス事業費補助金事務	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	150	
		010110	県生活交通確保対策協議会への参加及び申出	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	100	
		010111	地域公共交通に関する会議・研修会等への参加	適正処理	適正処理	適正処理	23年度	☆	100	

平成21年度 総括表

所属	市民生活部 地域支援課 地域振興係	係 表番号	2/2	内 線	1312				
総合計画の位置付け									
基本方針:7.安全・便利・快適なまち【都市基盤】 施策の柱:5.交通安全の推進及び公共交通の整備（総合計画 P92～P93）									
目 的		総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目標	期限
交通空白・不便地域がある程度解消され、交通サービスを誰もが利用しやすい社会の実現		平均利用者数(1日)	131.7人					140.0人	23年度
		移動が困難な人に配慮した交通手段が確保されていると思う人の割合	43.5%					47.2% (初年度実績)	23年度
任務目的	コミュニティバスを運行し、公共交通空白域に居住する市民の足の確保と利便性向上を図る。また、市民交流の促進や移動制約者の外出支援を図る。	平均利用者数(1便)	4.4人					4.7人	23年度
業務概要	コミュニティバスを運行するとともに、これに伴う管理運営、利用者拡大、運行見直しを実施する。	年間利用者数	32,000人					34,000人	23年度
【目的(総合計画)管理指標の動向】									
市民満足度は、初年度実績と比較して3.7%減少している。									
【現状】									
浜岡営業所と菊川駅を南北に結ぶ御前崎線、相良営業所と金谷駅を結び牧之原台地を運行する萩間線、これらを外し市内全域をカバーするようにコミュニティバスが運行されていることから、市内の交通空白不便地域は、概ね解消されている。									
【現状の課題】									
コミュニティバスは運行日、時間、本数に限りがあること、バス停から遠い人近い人が存在すること、行政主体の運行のため効率より公平性を重視せざるを得ないため、どうしても路線が冗長になってしまうなどという課題がある。									
【次年度改善措置】									
平成21年5月より開始したフリー降車区間を、さらに拡大するとともに、フリー乗車区間を新たに設置し、さらなる利便性向上を目指す。									